



PTA 奉仕作業、祖父母奉仕作業への御参加を ありがとうございました！

5月13日(土)にPTA奉仕作業を、17日(水)に祖父母奉仕作業を実施しました。皆様の尊い御奉仕に、心より感謝申し上げます。



PTA奉仕作業は小雨の降る中の作業となりましたが、担当地区の保護者の皆様が、草刈りや側溝の掃除などを行ってくださいました。雨で作業もしにくかったと思いますが、軽トラック2台でクリーンセンターを3往復ずつしなければ片付けられないほどの、草や木枝を刈ることができました。

祖父母奉仕作業の日は、5月とは思えないほどの暑い日になりました。炎天下の作業にもかかわらず、30名以上の祖父母の皆様が参加してくださいさり、PTA奉仕作業で最後までできなかった場所や植え込みの間の除草など、隅々まで丁寧に作業をしてくださいました。子どもたちも外に来ているおじいちゃん、おばあちゃんの様子が気になるようでしたが、作業後の授業参観で頑張っている様子を見てもらって本当にうれしそうでした。



民生委員・児童委員さんがあいさつ運動をしてくださいました！

5月19日(金)に地域の民生委員(児童委員)の皆様が正門であいさつ運動をしてくださいました。だれもが安全に安心して生活できる地域づくりのために活動してくださっている民生委員の皆様、子どもたちの健全育成にも貢献してくださっています。

ところで、今年の本校の目標は「自分も相手も大切に作る子～東小の文化をつくる～」です。東小の子どもたちの間に定着して行ってほしい習慣の一つに気持ちのよいあいさつがあります。相手に届くあいさつができる東っ子になってほしいと願っています。

そこで、あいさつ運動終了後、数人の委員さんに子どもたちのあいさつについて感じたことをうかがってみました。「自分からあいさつしてくれる子も多いし、こちらから『おはよう』と言えればしっかりあいさつを返してくれますよ。」と一言でくださる方や、「多くの子があいさつができるけど、してくれない子もいました。そういう子は『今日は好きな授業がないのかな』『何か心配ごとがあるのかな』と委員同士で話をしていました。」と話してくださる方がいました。

東小の子どもたちが「相手に届く気持ちのよいあいさつ」ができるようになることを目指しています。そして、それが東小の文化として定着、習慣化していくことを願っています。保護者の皆様、地域の皆様にも本校が目指している子どもたちの姿を共有していただき、皆様にも御協力いただきながら、子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。

民生委員・児童委員の皆様によるあいさつ運動は、年6回計画されています。地域の皆様が本校児童のことを大切にしてくださっていることに感謝しております。

東小の文化はできつつある？

年度の始めに子どもたちと目標を共有してから、2か月が経とうとしています。「相手に届くあいさつ」以外にも「相手を大切にしたい聞き方」や「いじめ撲滅への挑戦」も東小の文化にしたいね、と伝えています。

「あいさつ」については、先日青空委員会で、委員会だけでなく各学級でも気持ちのよいあいさつができるようになるための活動をしていくことを確認しました。「聴くこと」については、話をしっかり聴ける学級になるために、学級ごと目標を決めて、取り組み始めています。

「いじめ撲滅への挑戦」も始まっています。学校だより No.2 でお伝えしましたが、「自分と関係のあるだれかの行為により、心身に苦痛を感じている」場合は、いじめに該当します。担任の先生や学級での生活に慣れ始め、学年を問わず心ない言動でのトラブルが起こってきています。その都度、指導をしています。自分の行為が相手に苦痛を与えているということになかなか気付くことができない子もいることにいじめ撲滅の難しさを感じます。

「優しさは想像力」あるいは「想像力は優しさ」と言われます。相手の気持ちや痛みを想像できないということはたいへん残念なことです。御家庭でも、折に触れ、お子さんと学校での出来事について話をする時に、いじめについても話題にさせていただけると子どもたちのいじめ撲滅への意識も高まると思います。

私たちの心は、どこにあってどんな形をしているのか、私には分かりません。でも、いじめは被害を受けた子どもの心に多大な悪影響を及ぼすことは分かっています。いじめは相手の心を深く傷つける行為です。



私たちの心は、だれかに悪口を言われたり、無視されたり、たたかれたりしたら、深く傷つきます。何度も何度も、あるいはいろいろな人からイヤなことを言われたりされたりしたら、私たちの心はどうなってしまうのでしょうか。もし、私たちの心が紙でできていたとしたら、きっとクシャクシャになってしまうでしょう。いじめとは、相手の心を傷つけ相手の心をクシャクシャにしてしまう行為です。



紙は、一度クシャクシャになってしまうと元には戻せません。しわはいつまでも残ります。もし、私たちの心がアルミホイルのようなものでできていたとしたら？紙以上にクシャクシャになり、破れてしまうかもしれません。元に戻すことは紙以上に難しくなります。一度ついたしわ（傷）を完全に消すことは不可能に近いのです。

絹のようにしわになりにくい、しなやかな心を育てたいと願っています。でもそれ以上に、人の心を傷つけるいじめを絶対に許さない文化をつくりたいと考えています。